



あじさい祭りボランティアからつながる ボランティア活動

栃木市立栃木西中学校 教諭 森田 聡

本校では、地域ボランティア活動を生徒に勧めています。地域の方との協働活動は学ぶことが多く、生徒の成長に大きく役立っています。

今年度も例年行っていたあじさい祭りボランティアが、コロナ禍でできないことになりました。そこで、ボランティア活動中に配付する予定で製作していた手作りうちの有効活用をするため、観光協会と協力し、栃木駅前の観光交流館「蔵なび」において観光客の方に自由に持って行っていただくコーナーを設置しました。ポップ等も生徒の手で作成し、大好評を得ました。



この活動をきっかけに、観光協会の方とのつながりができ、あじさい剪定ボランティアや秋祭りボランティアの活動に次々とつながりました。

秋祭りボランティアでは観光協会の方との話し合いを生徒が行い、主催者の一員としてボランティア活動に取り組みました。コロナ禍で行き詰まっていた活動が次々とつながり発展していきました。これからも地域の方と共に子どもたちの成長を促していきたいと思います。



リレー「となりの社教主事53」

野木町立新橋小学校 教諭 山崎 賢二

地域の方々の思いに応えたい

本校は、児童を中心に、保護者や地域とともに「チーム新橋」として幸せを共有し、協働する学校を目指しています。

今年度、本校は、「頑張る学校・地域！応援プロジェクト 学校と地域の連携推進モデル事業」の実践校に指定されました。コロナ禍を受け、さまざまな活動が中止となっている状況の中、どんな取組ができるかを考えました。この事業を推進するための話し合いを地域の方々とする機会がありました。地域の方々と交流する中で、自分が悩んでいることを話すと、さまざまなアイデアを提案してくださり、たくさんのご助言をいただきました。この現状の中、できることを考えてくださり、本当に地域の方々に支えられているなど実感しました。こうした地域の方々の思いに応えられるように、この事業に取り組んでいきたいと思ひます。

生涯学習研究会第1回研修会報告

11月18日（金）とちぎ岩下の新生姜ホールにて、令和4年度下都賀地区生涯学習研究会第1回研修会を開催しました。

前半は、「親自身の笑顔を支える理由（わけ）」について『育ちあう親子の絆』応援プロジェクトアンケート結果から説明をさせていただき、後半は、「子育てで大切なたったひとつのこと。そのために…」と題して、NPO法人 親子コミュニケーションラボ代表理事の天野 ひかり 氏よりご講話いただきました。

参加者からは「親が笑顔でいることが子どもの自己肯定感を育む上でとても大切だということがわかった」「子どもを認めることを大切に、コミュニケーションのルールを常に意識していきたい。」等の感想が寄せられました。



ご案内

生涯学習研究会

第2回研修会

下都賀地区

ふれあい学習ネットワーク

◆日時 令和5年2月2日（木）
13:30～16:30

◆会場 城址公園ホール
（壬生中央公民館）

◆対象 社会教育主事有資格者
地域連携教員 他

◆申込み 所属長あての別送付
開催案内により、お申し込みください。



問合せ

発行 事務局

下都賀地区生涯学習研究会

下都賀教育事務所ふれあい学習課内

ホームページでもご覧いただけます。 ふれあい学習課 情報誌・機関紙 で検索してください。

TEL 0282-23-3422 / FAX 0282-23-3502
E-mail shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

